

# 7月は同和問題啓発強調月間です

同和問題を正しく理解し、  
一人ひとりの人権が  
守られるまちをめざしましょう

●問合せ先 人権・同和教育課 ☎72-2111

## 同和問題啓発強調月間ってなに？

福岡県と各市町村は、同和問題の早期解決をめざして、昭和56(1981)年から毎年7月を“同和問題啓発強調月間”と定め、差別をなくす取組を行っています。

市では毎年7月に街頭啓発や市民講演会を行い、人権が尊重されるまちの実現をめざしています。

## 同和問題・部落差別とは？

同和地区に生まれた人は「そこに生まれた」「そこに住んでいる」というだけで、社会から心理的にも実態的にも不当な扱いを受けてきました。これは、日本固有の人権問題であり、日本国憲法によって保障された基本的人権が完全に保障されていないという、最も深刻にして重大な社会問題です。

これまで市は、生活環境の改善の取組や同和問題解決に向けた科学的な認識を高めるための教育・啓発の取組を行ってきました。しかし、インターネットでの誹謗中傷の書き込みや差別はがきの送付、同和地区の問合せなどの差別行為は今なお起こっています。また、差別落書き事件や戸籍や住民票を不正に取得する事案も発生しており、部落差別は解消されていません。

## 部落差別をなくすために



私たちは、同和問題について正しく認識することで、インターネットやうわさ話に含まれる誤った情報や差別を助長する悪質な情報に惑わされることなく、差別をなくすために行動するひとりにならなければなりません。

福岡県は、部落差別のない社会を実現することを目的に、平成31年3月に「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」を施行しました。

### 県の条例のポイント

- ★部落差別の解消に関する施策として、相談体制の充実や教育・啓発などに取り組みます
- ★県民・事業者は、結婚・就職に際しての同和地区への居住に係る調査や調査に関する資料の提供など、部落差別事象の発生につながる行為をしてはいけません

部落差別は基本的人権にかかわる問題です。私たちの力で、部落差別のない社会の実現をめざしましょう。

## 同和問題市民講演会



## 橋本大二郎さん講演会

# 「自らの 体験から考える 人権問題」

同和問題、障がい者問題、外国人差別の問題などのさまざまな人権問題について、記者の経験や高知県知事の経験など、これまでの体験をもとに話します。

## 7月13日土

午後2時～  
(開場1時30分)

## 文化会館大ホール

講師 はしもと だいじろう 橋本 大二郎さん

1947年、東京都生まれ。'72年、日本放送協会(NHK)に入局し、福岡放送局での記者をはじめに、大阪・東京で主に社会部畑を歩む。'91年、NHKを退局し、同年より16年間高知県知事を務める。近年は、テレビのコメンテーターや講演活動を行う。

- 要約筆記・手話通訳あり
  - 無料託児あり  
(7月5日(金)までに要申込)
- 【申込・問合せ先】**  
人権・同和教育課 ☎72-2111



## 福岡県の講演会

### 講演「情報化社会と部落差別解消推進法」

半世紀を超える長い年月、市民の人権意識を高めるための教育・啓発活動が学校や職場、地域などさまざまな場面で取り組まれた結果、人びとの人権問題に関する知識については一定の成果が認められるようになりました。一方で、インターネットに代表される情報化の進展により、差別の問題はより深刻なものになっています。こういった背景を踏まえて成立したのが「部落差別解消推進法」です。

今回の講演では、情報化社会における差別の実態と部落差別解消推進法を生かすために私たちに何が求められているかを考えます。

- 日時 7月20日(土)  
午後1時30分～(開場0時30分)
- 会場 クローバープラザ(春日市原町)
- 講師 谷川雅彦さん  
(一社) 部落解放・人権研究所所長
- 入場無料、要約筆記・手話通訳あり